

平成 30 年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 大槌町社会福祉協議会	代表者	徳田 信也	法人・ 事業所 の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・前事業所は東日本大震災で全壊流失したため、現事業所は津波到達の心配のない地域にあり安心な利用ができる環境になりました。災害時には地域のみなさんの一時避難所としても活用できるよう備蓄品も整備してあります。 ・地域にも民家が増えてきており、皆さんの集会的な役割も果たしています。 ・職員一同、可能な限り利用者様個々のニーズに対応ができるよう努めています。
事業所名	ほっと おおつち	管理者	八幡 芳美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	4人	人	1人	1人	人	4人	人	11人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・人事異動につき「ほっと」職員が分からないという意見が出された。名札は配布しているが、介護する上で凶器になる可能性がある為、業務時は付けていない。外部の人が職員と利用者の区別がつくように社協の制服着用をするように心がける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・勤務中は制服着用を心掛け、訪問等外出時は名札着用するよう周知している。人事異動等の際はおひさま便りで随時紹介している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングや日誌を活用し職員間の共有や取り組む姿勢が見える。 ・職員の自己評価や話し合いが全員で共有できていたのか。 ・外出時は社協の制服と名札着用を心がけ職員であることを意識していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内研修を年2回実施、研修内容を施設内で共有し実践につなげる。 ・申し送り事項は全員に周知するまで、ミーティングで繰り返し報告する。 ・制服の着用と外出時の名札着用を徹底する。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・社協職員も通る道なので、気がついたらフンやゴミを拾う等環境整備をするようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ拾いや、草刈り等気がついたら環境整備を行っている。 ・町内会のマナー等についても確認しつつ対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・敷地周辺の草刈りやゴミ拾いは状況によって都度実施できた。 ・犬の糞を水路に捨てたり冬季に道路へ水をまいたりする住民もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して環境整備を全員で意識し対応していく。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の理解を得て、今まで通り前日までに周辺の草刈りや泥上げ等の作業を終了するようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の理解を得て左記対応できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の理解を得ながら地域の草刈りや泥上げ作業を実施できた。 ・短時間の施設見学では活動内容を理解できないのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設行事やイベントは回覧板やチラシで案内し参加してもらおう。 ・施設訪問や見学をオープンにしていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントやボランティア来所の際、地域住民がたくさん集まって来てくれたので、今後もイベントやボランティア来所があったら回覧を廻していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア来所の際は、チラシの回覧にて周知を行い、住民の皆さんの参加がたくさんあった。 ・季節ごとの行事やドライブ、お祭り等で外出し地域の行事に参加している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設行事に限らず、お祭りや町民文化祭などイベントへの参加や見学ができた。 ・施設のイベントに地域の方々にも参加していただいた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して地域のイベントに出かけ積極的に社会参加を行う。 ・季節の変化や慣れ親しんだ地域の様子を感じてもらおう取り組みを行う。
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・二か月に一回運営推進会議を実施しているので今後もその都度意見を出してもらい改善していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見を出してもらい、情報交換しながら、防犯対策やアドバイス等いただき協力を得ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者や地域を含めた周囲の環境、安全、防災等幅広く意見交換ができていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者の協力を得ながら、都度問題提起や解決につながるアドバイスをいただいている。
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯設備の設置や整備、災害対策や計画を立てる等改善してきた。また、台風の際は避難準備情報段階で避難するようにしているが、何があるか分からないので気を引き締めていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯設備や火事、災害等の対策や計画に沿って訓練を実施している。また、避難が必要な時、地域役員の皆様に趣旨を説明し協力をお願いをした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災へのアドバイスをもらい計画を立てることが出来た。 ・町の防災無線情報をもとに利用者や家族への対応ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災や災害への対応を常に意識しながら全員で訓練に取り組む。 ・地域の協力を得るため、日頃から声掛けや顔を知る関係作りに務めていく。